



会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 普及啓発部会	
開催日時	平成30年5月10日(木) 開会：19時00分・閉会：19時45分	
開催場所	行田市産業文化会館 管理棟 2B会議室	
出席者(委員)氏名	浅見和成、荒木 宏、矢那瀬淳一、清水由香理、藤村幸子、寺山有紀、山岸朱美、山岸克也、近藤慶一、前田千穂、加藤里美、川島 治、溝上俊亮	
欠席者(委員)氏名	松井毅、寒河江涼太、新井竜、	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	・第1号広報誌について ・第2号広報誌(平成30年10月発行予定)の掲載記事について	
会議資料	(資料名・概要等)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名押印	
30年6月14日	浅見和成 溝上俊亮	 

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	開会
浅見委員	時間になったので始めます。今日はお忙しい中集まって頂きありがとうございます。
溝上委員	松井委員が所用により欠席の為、私、医介連携推進委員の溝上が浅見委員の補助で入ります。よろしくお願ひします。開始前に会長より挨拶をお願いします。
川島会長	VR研修を8月9日（木）に1回目を2時半からと、2回目を協議会に合わせて6時半から行う。募集は1ヵ月前から協議会作業部会のメンバーを優先し、是非皆さんに参加して頂きたい。また近くなったら案内する。
浅見委員	配布した第1号誌。事務局に編集してもらった。文章が多かったという事でもう少し簡潔に見やすく作ってもらい、4ページの見開き。1ページ目、協議会の説明、会長の言葉。説明、部会の紹介、研修会の報告、ちょっとしたトピックスという形で載せている。来月6月に市民に向けて発行。完成ではなく、何か気になる所やこうした方が良くあれば意見言って欲しい。
荒木委員	特別ない。立派なものが出来た。入退院の部分のバックはお年寄りが見やすいか、もう少しバックの色が薄い方が良い。
溝上委員	最終的にはデザイナーが入り調整するのか。
浅見委員	入る。何か意見あるか。
溝上委員	「行田人」を大きくしては。「行田人」とは何か、キャッチーな

	感じ。パッと前に出すのがデザイン的に良いのかと。
浅見委員	女性の意見を聞いて作った。色合い、見やすさ、黄色が強い等あれば。
川島会長	2 ページ目患者情報 ICT 部会に「K」の誤字がある。字のフォントがもう少し大きくても良い。60～70 代、80 代の方が見る。
浅見委員	もう少し全体に字を大きく。
藤村委員	部会紹介が読みにくい気がする。他の位の大きさが良い。
川島会長	お得感がない。介護体験等、急な提案で申し訳ないが、最後まで読むというのは関心がある事。お得な感じがイマイチ、つかみがない。第 1 回目から皆に期待してもらえる内容が良い。
浅見委員	1 号誌がこういう形の内容だが、2 号誌で考えている内容が、研修部会の報告を載せるのが 1 つ、会長からもあったが見て注目してもらえる様な記事も載せていきたい。
溝上委員	①緊急入退院の所、緊急だったらここだという窓口がまず来ているが、入院や退院したらここだという窓口を目立つようにし、下に補足。入院の時はこうすれば良い、緊急の時はこうすれば良いという情報がパッと入ってくると思う。これなら安心。最初、介護まで支えてくれるという安心。パッと見でこういうサービス、窓口があると分かると良い。読み進めないと分からない。
浅見委員	パッと見て、困っている時の連絡先載せられれば。
溝上委員	読み込む人とパッと見で終わる人がいる。パッと見の人を引き

	<p>付けるような、緊急、相談ダイヤル等工夫してデザインっぽくしても良いのではないか。下の細かい所は情報を読み込みたい人用に補足で説明書きをすると良いのではないか。</p>
浅見委員	<p>部会紹介の所の字を大きく。キツキツか。</p>
事務局（春日）	<p>研修会は市民にとって必要な情報なのか。</p>
藤村委員	<p>色が見にくい気がする。他と比べてバックの色で字が余計見にくい。背景の色、字が小さく色の対比も見づらい。</p>
加藤委員	<p>今回はこちらが黄色なのでこちらがメインという様に見える。</p>
溝上委員	<p>デザイナーが色合い等最終調整をしているのか。大体こんな感じで出てくるのか。ほぼこの様な感じか。</p>
事務局（春日）	<p>大体こういう感じで出てくると思う。まだ頼んでいないので修正可能。多少余白をなくす、字を大きくというのは調整出来る。背景変更も。内容を絞らないと字の大きさは限界がある。</p>
溝上委員	<p>協議会でこういう事をやっているというのは伝えた方が良いと思う。文章を削除して、こういう事をしていると写真だけ載せ、自分達の為にこういう事をしているとアピールしたい。無くしてしまうのも寂しい。</p>
清水委員	<p>パンフレットの絵は、年度が変わったら中身が変わると言っていたが、パッケージは一緒か。</p>
事務局（春日）	<p>一緒。</p>

浅見委員	内容として部会の紹介、研修会の報告は必要か。
荒木委員	部会の紹介の場所を狭め文章を小さくする。無くす事はない。
溝上委員	場所を削り、文章を小さくすれば。
川島会長	1 ページ目、「4つのいいこと」に ICT が出てきている。部会紹介の所にあるが、ここに注釈を入れ説明した方が良い。
浅見委員	後、何か気になる所があるか。溝上委員が言った、緊急の時の対応方法でどこに電話する様なもの。
溝上委員	緊急の時それがあれば安心。余り読まない人用に目立つ感じで、緊急ならこういう窓口があるなら安心、入院、退院、介護ならこう。これを見た人がお得だと。読み込んでいかないと最終的に他の所に繋がらない。そういうキャッチなものがあれば。
事務局（春日）	あればだが、入院先は難しい。病院に直接か。介護はここに包括を載せる。市役所、包括、ケアマネを羅列のみで番号載せなくても良いなら。ダイヤルがないので難しい。溝上委員の意見で入院の時にパッと分かるもの、皆さん何か良い案があるか。
山岸（朱）委員	ここに赤字で書いてある部分にまず目が行く。入院した時には相談員だと、相談すれば相談に乗ってくれる所が各項目にあれば良いのではないか。
溝上委員	下の「介護保険が下りたら地域包括支援センター、ケアマネジャーに相談」を上になれば、ケアマネ、地域包括支援センターというのがあるのだと分かる。その後食事や排せつ等の補足事項を下へ。介護や支援する場所があると、シンプルにする。キャッチ

	な何かあると良い。介護になったらどうする。
山岸(朱)委員	当然認定を受けていない方もいる。市役所の窓口、包括。
事務局(春日)	また包括が出てくる。
浅見委員	例えば実際に必要になった時市民はどうするのか。
事務局(春日)	市役所、包括に相談。
浅見委員	包括の認知度はどれ位か。
事務局(春日)	調査すると6割位の市民は分かっている。4割は分からないので広報誌に毎掲載せる。
溝上委員	それでは相談窓口は裏面へ。病院には医療ソーシャルワーカーがいて相談を受けるとし、その下に相談、悩みを聞いてくれる人がいると補足。
浅見委員	入院となると相談員なのか。
荒木委員	入院するとソーシャルワーカーが相談受ける。
加藤委員	石井クリニックにはソーシャルワーカーがいない。
荒木委員	クリニックは病院ではないからいない。
浅見委員	同じ呼び名なのか。
溝上委員	看護師なのか、相談にのる人は。

荒木委員	ケースワーカー。
川島会長	<p>窓口はソーシャルワーカーを紹介してくれる。入院する前にソーシャルワーカーの存在を詳しく知る意味があるのか。どちらかという^とと介護保険の申請をしているかどうか。自分の医療に対して今後出てくるリビンウィル、延命的希望等。緊急の時は入口なのでこの電話番号があっても良い。退院してある程度スタッフによりルールを引いてあるので、退院時の心配を家族で延命治療等について話しておいて欲しいと言ってもらいたい。入院したら退院しなければいけないよ、入院初日が退院準備の始まりなのだ。入院した中の仕組みはソーシャルワーカーや看護師が対応。</p>
溝上委員	今の意見を受けてどうか。
事務局（春日）	良いものを出したいのは分かるが、大幅変更は難しい。
溝上委員	<p>入院期間には限りがある所がポイント。会長の意見踏まえて修正で良いか。他に何かあるか。次の議題を検討したい。</p>
川島会長	<p>住み慣れた家で生活出来るとこれを見て最初に知り、その為に入院前から介護保険の準備をしておけば、在宅に繋がる部分ある。入院や退院に繋がっていくと良いと思う。</p>
事務局（春日）	<p>「入院期間には限りがある」という文言自体を、「在宅復帰や入院、退院の事も考えて過ごす」というような文言を入れるという事で良いか。</p>
溝上委員	<p>サブタイトル的な感じ。「入院期間には限りがある」、サブタイトルで「在宅で住み慣れた家で過ごす為に」という様に。</p>

事務局（春日）	赤字そのものを直して良いか。「入院した時から退院後の事を考えていく」という形でどうか。
藤村委員	最終的に4番が在宅か施設かの最終的な選択になると思う。そこにたどり着く順番で1, 2, 3, 4といく。この辺に「安心して在宅出来る」と大きく書いてあれば分かりやすいと思う。
事務局（春日）	「介護サービスを利用し安心出来る生活」を在宅の言葉を入れながらタイトルを少し変えれば良いか。
荒木委員	介護でなくても在宅で良いのではないか。介護だとどこかに入っている様な感じがする。
事務局（春日）	施設入所というのは、一応選択肢にはある。
荒木委員	基本的には在宅に持っていく。在宅の補助手段として介護。
事務局（春日）	4番のタイトルを「在宅生活を」へ変更。
荒木委員	在宅の生活の事が浮かんでこない可能性。
溝上委員	「入院、退院、介護が支えてくれる安心」を「住み慣れた町で暮らせる安心」へ変えると、1~4まで繋がり、行田の町、住み慣れた町で生活していけると繋がる。
加藤委員	住み慣れた地域でこういう人たちが支えるのだと。
溝上委員	反対の方が良いか。

加藤委員	ここで写真が出ているからこれはこれで良い。
溝上委員	繋がってきた。大丈夫そうか。
浅見委員	他に意見あるか。
事務局（春日）	市で修正したものを業者に発注する。話し合いが終わったらすぐ発行になってしまう。市で直して発行する。
加藤委員	委員に流れる前に発行なのか。
事務局（春日）	原案を書き、発注が明日。早いですが発注を掛けないとスケジュール的に間に合わない。不安なら流せる時間あれば流す。
溝上委員	修正がきかないという事で良いか。第2、第3と続くので少しずつ修正して良いものを作っていけば良い。
荒木委員	任せる。
浅見委員	2号誌は10月発行予定。2号誌の内容、研修会の報告。7月に研修部会で摂食嚥下の研修会について記事を書きたい。職種の紹介、サザエさん一家を題材にして、こういう職種ならこういう事出来るという紹介したい。最初、順番で医師会、訪問看護、薬剤師からのこういう事が出来る、支えられるという職種の紹介を載せる案。もう一つは市民への情報提供。お知らせ、トピックス等目に付く様に知りたい情報を載せたい。1ページ目に職種の紹介、2ページ目に研修会の報告、3、4ページ目で市民への情報提供、お知らせ、トピックスという形。構成はどういう形が良いのか。こういう情報を市民が知りたがっているというのがあれば、意見欲しい。一つ思ったのは、例えば怪我や骨折をして病院に行こう

溝上委員	<p>となった時、どこの何科に行けば良いのか分からない方もいる。医療に従事していると骨折したら何科、こういう怪我ならこういう科が良いと想像出来るが、一般の方は中々分からない方がいる。そういう情報を、量が多くなってしまいが、大まかに分かりやすく2号誌に載せられたら良いと思う。</p> <p>職種紹介をただするのは面白くない。サザエさんというのが出てきたので、モデルケース、例えば骨折した時にどうしようという時に、医師会が入ったりリハがあったり、医介連携で集まっているので連携して、医師、リハとしてこういう事が出来ると紹介したら面白い。それをまとめているのは地域包括。</p>
事務局（春日）	<p>二つ提案が出たがどちらから話し合うか。</p>
溝上委員	<p>紹介は紹介で一緒。紹介の仕方を工夫してみる。</p>
浅見委員	<p>サザエさん一家をモデルにして、こういう怪我をしたら等。</p>
溝上委員	<p>組み合わせが難しい。毎回医師会が出てくる訳にはいかない。どう組み合わせるか。</p>
浅見委員	<p>題材にするのは職種の紹介。</p>
溝上委員	<p>全部を紹介出来ない。医師会ではこういう事が出来る。全然違う様に見えて実は連携していると市民が知るのは良い事。病院と介護連携している。ケアマネがこの様に介在していると分かる。</p>
浅見委員	<p>こういう時にどの科に掛かれば良いのかというもの。</p>
事務局（春日）	<p>コラム的な感じでしょうか。それは、先生に聞いた方が良い。</p>

<p>荒木委員</p>	<p>職種を紹介をした後にその職種に関わるコラムを載せるイメージ。</p> <p>誌面がそんなにないのではないか。ケースは色々ある。怪我は外科系、その後リハビリするのは整形外科だが、多岐に渡る。難しい。</p>
<p>事務局（春日）</p>	<p>診療科を考えると多岐に渡ってしまう。市の方で出した資料が、第3回の合同意見交換会で職種を紹介しながらグループワークをした。カラー刷りのものは職種ごとに作ったパネルで自分達がこんな事が出来るというパネル。職種紹介の記事を載せるならこれを題材にしても良いと思うので、今日資料として出している。医師の紹介をするのであれば、在宅医療で医師がこんな事が出来ます、という所で記事の参考。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>職種紹介といっても市民に関係する事を挙げた方が良いのか。</p>
<p>事務局（春日）</p>	<p>そうですね。誌面を取るが、サザエさん一家を載せても良いと思う。こんな時に医師の仕事はこういうもの、こういう事が在宅で出来るという事に、皆さんに伝えたい事をプラスして在宅医療の場面等を写真で載せる。取材は必要。そのような紹介の仕方。看護師であれば看護師のケアの部分の仕事を写真で撮らせてもらおう等。そこを1ページ使うとしたら、研修報告が2ページという話なので、1職種しか載せられないかも。原案を作ってみないとイメージが湧かないかもしれない。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>研修の報告、摂食嚥下だが、今回関わる入退院の用紙は。入退院の用紙は載せなくても良いと思うが、入院から退院まで医療と介護で連携してやっているのと摂食嚥下の次に載らないか。入院すれば、病院だけでやっているのではなくケアマネ等連携してやっ</p>

	<p>ていると入退院調整で載せる事は出来るか。</p>
事務局（春日）	<p>研修に合わせた内容の職種紹介の方が良いという意見か。</p>
加藤委員	<p>研修委員がやっている事だけではなく、入退院調整も進展があると思うが、難しいか。皆で支えているという事を一生懸命出す。</p>
浅見委員	<p>研修会のグループだけではなく他の部会も。</p>
加藤委員	<p>摂食嚥下も患者、市民の為に皆で勉強している事。研修しているというだけではなく、市民の為にやっている。</p>
事務局（春日）	<p>研修報告をするのであれば、そういうものを打ち出していった方が良いという事。</p>
溝上委員	<p>表紙、裏表紙はどの様な感じか。相談窓口、裏面に研修報告。移動は可能か。</p>
事務局（春日）	<p>それはどちらでも平気。前回の作業部会で、地域包括支援センターは必ず載せて欲しいという要望があったので、これは残す。場所はどこでも。記事内容を決めれば原案は作れる。まだ少し先なので、載せるものが決まれば大丈夫。</p>
溝上委員	<p>ここままで大丈夫か。</p>
浅見委員	<p>時間になった。次回の広報紙を皆さんの意見を聞きながら作って行きたい。よろしくお願いします。ありがとうございました。</p>
全員	<p>ありがとうございました。</p>

	閉会
--	----

